

1 題 材 秋の英単語で遊ぼう

2 目 標

- ・ 秋に関する英単語に興味を持ち、その英単語を使って進んで話し合ったり、楽しくゲームをしたりすることができる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・ 進んで挨拶をしたり、「I like ～」を使って相手と話したりすることができる。 (表現の能力)
- ・ 友達やALTが話す内容を聞き取り、英単語の意味を理解することができる。 (理解の能力)
- ・ 友達やALTが連想する秋の英単語に興味を示し、相手の思考や文化の違いを感じることができる。 (言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

本題材では、身近な生活の中から“秋の季節”と聞いて連想する言葉を引きだし、和英辞典で英単語を調べさせる。そして、互いに自分が考えた秋の英単語を伝え合い、その英単語を使って楽しくゲームをする活動であり、生徒の興味や関心を高めながら生活を見つめ直し、英語にも触れさせるものである。ここで使う「I like ～」は英語でコミュニケーションをとる際の基本となる表現である。

本学級の生徒は、生活や季節を振り返ろうとする意識が低い。また、外国語に対する抵抗感もあり、スペルを読む、書く、覚えること、さらには、一度覚えた英単語を定着させることが難しい。さらに、人前で表現することを嫌がる生徒が多く、文にならず、単語だけで答える場合が多い。しかし、外国語の学習を通して、外国と日本の生活の違いや英語に興味を持ち、簡単な英文法であれば文を意識して表現するようになってきている。

本授業では、「秋の英単語で遊ぼう」という課題設定により秋の生活を思い浮かべ、ALTの個性や文化の違いに触れながらコミュニケーションを図り、英語を通して楽しく集団活動を行うことができるように支援したい。

4 生徒の実態と個別目標

略	生徒の実態
A	・ 知的な遅れがあり、集団不適応を起こし、不登校傾向になった。
B	・ 交流学級の生活や学習にかなり適応している。2年になり、本人や保護者の希望により、単元等によっては国語や英語、数学の授業を交流学級で受けている。
C	・ 穏やかな性格であり、協調性がある。社会と理科も交流学級で受けている。 ・ 特に言語理解・表現能力に欠け、国語の指導が必要である。
D	・ 対人では緊張が高く、集団参加が難しい。長欠傾向。 ・ 小学校中学年程度の読解力がある。人前で少しずつ話す場面が増えてきた。
E	・ 3年から本学級に在籍。少しずつ協調性が育ち、学習に向かうようになってきた。
F	・ 真面目な性格である。理解できない学習は避けようとするが、理解すると繰り返し学習することができる。人前で話すことが苦手である。
G	・ 丁寧に話せば気持ちが通じ、理解することが多い。学習内容が分かり、必要と感じると進んで発表し、学習をリードすることが多い。書くことは苦手である。

短期個別指導目標	単元における個別指導目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単な英会話を行うことができる。 ・ カード合わせで英単語を覚えることができる。 ・ 簡単な英単語を使って楽しくゲーム活動を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常のあいさつや「How are you?」を使った会話を行うことができる。 ・ 秋の英単語と絵(写真)カード合わせができる。 ・ 秋の英単語カードなどを使い、「I like (英単語)」を用いてALTと楽しくゲームを行うことができる。
教育的ニーズに応じた個別の支援内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵を入れ、視覚的にわかりやすい資料を提示することで、意欲的に取り組ませる。 	

5 キャリア教育との関連

本学級は、対人関係を築くことが難しく、通常の学級において不適応を起こす生徒が多い。そのため、将来の社会自立を踏まえ、むつみ学級という小集団の中で、秋をテーマにした楽しい活動を通して、日常の挨拶など生活の基本的なスキルを習得させ、「人間関係形成能力」を育てたいと考える。

6 学習計画及び評価計画（5時間 本時は○）

時	主な活動及び内容	評価の視点
1	<ul style="list-style-type: none"> 秋でイメージすることを意欲的に思い浮かべ、その言葉を書く。 秋でイメージすることを和英辞典で調べ、知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 秋でイメージすることを意欲的に思い浮かべ、その言葉を書くことができたか。 (関心・意欲・態度) (表現) 秋でイメージすることを和英辞典で調べ、知ることができたか。 (知識・理解)
2	<ul style="list-style-type: none"> 相手の秋のイメージを聞く。 自他が調べた秋の英単語を少しずつ覚える。 秋の英単語と絵（日本語）カードをマッチングさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の秋のイメージを聞くことができたか。 (関心・意欲・態度) 自他が調べた秋の英単語を少しずつ覚えることができる。 (知識・理解) 秋の英単語と絵（日本語）カードをマッチングさせることができる。 (表現)
3	<ul style="list-style-type: none"> ALTが言う「I like（秋の英単語）」というフレーズを集中して聞き、カードをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTが言う「I like（秋の英単語）」というフレーズを集中して聞き、カードをとることができたか。 (理解・表現)
④	<ul style="list-style-type: none"> 秋の英単語カードを使って楽しくゲームをする。 友達やALTが思い浮かべる秋のイメージに興味を示し、相手の思考や文化の違いを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 秋の英単語カードを使って楽しくゲームをすることができたか。 (理解・表現) 友達やALTが思い浮かべる秋のイメージに興味を示し、相手の思考や文化の違いを感じることができたか。 (文化についての知識・理解)
5	<ul style="list-style-type: none"> まとめと発展 取り上げた秋の英単語を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> 秋の英単語を覚えることができたか。 (知識・理解)

7 本時の指導

(1) 目標

- 秋の英単語に興味を持ち、それを使って対話したり、ゲームをしたりすることができる。
(関心・意欲・態度) (理解・表現)
- 友達やALTが思い浮かべる秋のイメージに興味を示し、相手の思考や文化の違いを感じることができる。
(文化についての知識・理解)

(2) 個別の目標

略	個別の目標
A	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の生徒の動きに合わせて発音の練習やゲームを楽しくすることができる。 上級生の助言を受け秋の英単語と絵（写真）カードをマッチさせることができる。
B	<ul style="list-style-type: none"> 本時は、通常の学級の授業に参加する。
C	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の生徒の動きに合わせて発音の練習やゲームを楽しくすることができる。 上級生の助言を受け秋の英単語と絵（写真）カードをマッチさせることができる。
D	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の生徒の動きに合わせて発音の練習やゲームを楽しくすることができる。 銀杏を考えだせたことに自信を持って、学習に取り組むことができる。
E	<ul style="list-style-type: none"> 気ままに行動することなく、状況に応じてきちんと行動することができる。 周囲の生徒の動きに合わせて発音の練習やゲームを楽しくすることができる。
F	<ul style="list-style-type: none"> 相手の考えを認めながら新しい英単語を覚えることに取り組むことができる。 下級生がマッチングをする時には、適切に助言をすることができる。
G	<ul style="list-style-type: none"> 協調して発音の練習やゲームを楽しくすることができる。 下級生がマッチングをする時には、適切に助言をすることができる。

(3) 展開

(○は特に支援を要する生徒へのはたらきかけ)

主な学習活動・内容	形態 資料	教師の働きかけ	
		J T E	A L T
1 英語であいさつする。 「How are you? 」	一斉 ペア	・TとALTが分担し、一人ずつ対面し、相手を意識的に挨拶をさせる。	
2 課題をつかむ。 秋の英単語で遊ぼう		○Dが小声でも挨拶した時には個別に称賛する。 ・事前に書かせたイメージ英単語を黒板に提示することで存在感を味わわせ活動意欲を高める。	・生徒一人一人の秋のイメージをうなずきながら共感的に聞く。
3 秋の英単語を発表する。 ・生徒の発表 ・ランキングの発表 ・だれも気付かない英単語発表 ・季節外れの英単語の発表 ・ALTの発表	一斉 生徒作成「秋の英単語」カード 教師作成 ランキング等カード	○一つだけ答えたDや季節外れに答えたEやGの英単語が学習に役立つことを認める。 ・ALTの秋のイメージ英単語を聞き、個人の思考の違いや文化の違いを感じ取るように促す。	・生徒のイメージが足りない場合にはALTに付け加えて紹介してもらう。 ・季節の中でも特に秋が好きな理由を話し、生徒の豊かな情操を育てる。 ・生徒の反応を見て発音するスピードを調整して真似させる。
4 秋の英単語を発音する。 ・ALTの秋の英単語の発音を聞き、発音をする。	ALT作成 「秋の英単語」カード		
5 秋の英単語をマッチングする。 ・秋の絵カードとスペルカードを合わせる。	一斉 秋の英単語 マッチング 用カード	○A(1年)やC(2年)はカードを少なくし、達成できるようにする。 ○3年のE, F, Gには条件を加えて難しい課題を達成させ喜びを味わわせる。	○E, F, Gが元気に発音できた時には称賛して自信を持たせる。
6 ゲームをする。 ①英語カルタゲーム ALTが「I like (英単語)」と言ったカードをとる。 [例: mush room]	一斉 秋の英単語 カルタ	・事前に教材サイコロを使い、「I like (英単語)」の言い回しと意味を理解させる。 ・秋の英単語以外にも既習の英単語のカテゴリーが入ったカプセルを選ばせ、偶然性を加えることでさらに楽しく活動をさせる。	・ゆっくり英単語を発音し、聞き取りやすいようにする。 ・ALTがイメージする秋の英単語もカルタにし加え、興味を高める。
②「I like (英単語).」と最初の生徒が言ったフレーズに「and (英単語)」を加え順番に言う。	一斉 英単語カテゴリーカプセル 種類別英単語ヒントカード ・動物 ・野菜 ・果物	○DやCには種類別の英単語カードを用意し、それをヒントに答えさせる。	・生徒の間に入り、場の雰囲気盛り上げる。 ・発音面で自身のない生徒に対し、発音の仕方を教える。
7 学習のまとめをする。 ・本時の学習内容について ・次時の学習内容を確認		※対話やゲームに進んで参加することができたか。 (観察・発表) (関心・意欲・態度) ※友達やALTが思い浮かべる秋のイメージに興味を示し、相手の思考や文化の違いを感じることはできたか。 (観察・発表) (文化についての知識・理解) ・本時の活動を称賛し、次時への意欲付けを図る。	・活動を称賛し、次時への意欲付けに結びつけるようなあいさつをする。

(4) C評価になった生徒に対する支援

本時の基本表現を確認し、繰り返し指導して活用できるようにすることで達成感や満足感を味わわせる。